

報道関係者各位
プレスリリース

2022年1月27日
株式会社 Braveridge

都市ガス事業者向けリモート監視 IoT サービス 『ガス導管内 露点・圧力遠隔管理システム』 2021年4月発売以来、25社に採用

株式会社 Braveridge（ブレイブリッジ、本社：福岡県福岡市西区、代表取締役社長 小橋泰成、以下「Braveridge」）は、2022年1月27日、都市ガス事業者向けのリモート監視 IoT サービス『ガス導管内 露点・圧力遠隔管理システム』が2021年4月の発売から9ヶ月で都市ガス事業者25社に採用されたことを発表しました。

ガス導管内 露点・圧力遠隔管理システム

URL：<https://www.braveridge.com/product/archives/41>



■販売開始からわずか9ヶ月で25社に採用

『ガス導管内 露点・圧力遠隔管理システム』は、都市ガス導管の差水対応での作業負担を軽減する都市ガス事業者向けのリモート監視 IoT サービスです。

都市ガス導管の差水は、一時的な都市ガスの供給停止やガス設備の故障を引き起こす要因の一つであり、その対応では、作業員が各所で露点を計測して回り発生箇所や要因を特定、発生箇所の修理後も一定期間の計測が必要となるなど、差水の発見から原因箇所の特定、修理後の経過確認に至る作業の負担やコストが大きな課題となっていました。

Braveridge は、自社のハードウェアユニットシステム『PILEz』と IoT ネットワークサービス

『BraveGATE』を使うことで、安定した有用性の高い IoT サービスを短期間で開発し、この課題解決を実現しました。

日本ガス協会 2021 年度技術賞を受賞するなど都市ガス業界から高い評価を得ており、2021 年 4 月の発売以来、わずか 9 ヶ月で都市ガス事業者 25 社に採用されました。

導入したガス事業者からは、リーズナブルな費用設定（センサー本体と月額利用料）と使いやすさで、多数の地点への設置が可能となり差水箇所の特定や経過の確認がしやすくなったと好評をいただいています。

Braveridge では、2022 年度中に 100 社への採用を目指しています。

今後も、IoT ハードウェアメーカーとしての開発・製造力を活かし、都市ガス業界でのお困りごとを解決できる商品の開発を進めていきます。

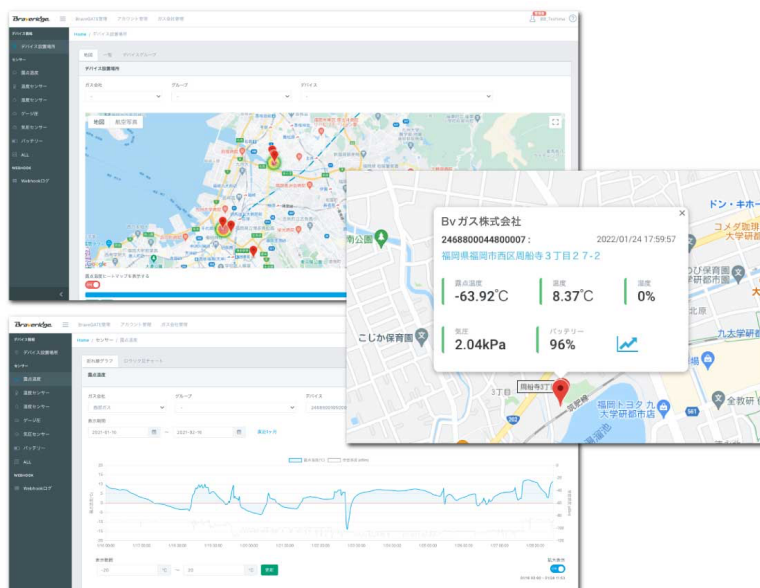


■ 『ガス導管内 露点・圧力遠隔管理システム』 について

低消費電力で広域通信が可能な携帯回線（LTE-M）を活用し、小型軽量で施工性・拡張性が高く、リーズナブルなコストで設置・運用が可能です。複数箇所に設置して、差水対応に際して必要となる原因箇所の特定や、修理後の経過確認などの作業負担を軽減することができます。

URL : <https://www.braveridge.com/product/archives/41>





■会社概要

名称	: 株式会社 Braveridge	所在地	: 福岡県福岡市西区周船寺 3-27-2
代表	: 代表取締役社長 小橋 泰成	設立	: 2004年7月
資本金	: 100,000,000円	URL	: https://www.braveridge.com/

株式会社 Braveridge は、Bluetooth®Low Energy や LTE-M をはじめとする各種 LPWA など無線通信技術を軸に、日本国内で IoT デバイスの企画・開発・量産・販売を行うハードウェアメーカーです。2019年には電気通信事業者登録を行い MVNO として回線、プラットフォーム、デバイスを含めた総合的な IoT サービスの提供を開始しています。